

アコマ 人工呼吸器 ARF-1500E 型

Q 1. 使用中停電が起こったとき、又は電源コードが抜けたとき、どんな対策がなされていますか？

A. 本装置は AC 100 V 電源の他に、カーバッテリーや小型発電機などの外部バッテリーを利用できるばかりではなく、充電式バッテリーを内蔵している。万一、AC 電源に異常があれば自動的に外部バッテリーへと電源が切り替わるが、これらが本体に接続されていないかあるいは故障などによって電力が供給されなくなった場合には、即座に内蔵バッテリーによって装置の駆動を維持する安全機構をとり入れている。また最終的な電力供給源としての内部バッテリーが使用時間の経過に伴い、電圧が 11 V 以下になると可視可聴アラームによって警報する。

Q 2. Q 1 以外に付属しているアラームの種類と作動のメカニズム及びその性能について述べて下さい。

A. ① リーク警報：圧力トランスデューサーにより、検知圧を電気信号に変換して監視をおこなう。5~50 cmH₂O まで 5 cmH₂O 間隔で設定でき、設定圧レベルに達しない状態が 20 秒間経過すると、可視可聴アラームが作動する。

② 過剰圧警報：同上の原理によって監視し、20~65 cmH₂O まで 5 cmH₂O 間隔で設定できる。もし吸気圧が設定レベルを超えると、呼吸相に切り替わり同時に可視可聴アラームが異常を知らせる。

③ フローレート不足：本装置はボリューム・プリセット&タイム・サイクリングによる換気方式を採用。また呼吸回数、呼吸相比および 1 回換気量を設定することにより、マイクロプロセッサが換気条件を自動算出してコントロールする。1 回換気量はオプトセンサーによって感知しているが、設定した 1 回換気量に満たないうちにタイム・サイクリングによって呼吸相へ切り替わってしまった場合、フローレートが不足することになる。異常換気状態が生じた場合可視可聴アラームが作動する。

Q 3. 消毒可能な部分とその消毒法を述べて下さい。

A. ベローズユニットを含む、すべての呼吸回路はオートクレーブ、EOG およびヒビテンによる滅菌・消毒が可能である。

Q 4. 吸気弁と呼気弁の抵抗を教えてください。

A. 当機種は IMV 機能を有しない。従って吸気抵抗

はさほど問題とならないので呼気抵抗についてのみ表記する。フロー 50 l/分のとき、呼気抵抗は 3 cm H₂O である。

Q 5. 耐久性について、何日間の連続使用が可能かなど具体的に教えてください。

A. 装置の各作動部や弁部の耐久性には、きわめて高い信頼性と安定性を具備している。しかし安全確保の見地から、1 日 24 時間のフル駆動条件のもとで連続使用した場合、4,000 時間ごとに定期点検を受けることをユーザ各位にお願いしている。

Q 6. 最大のセールスポイントを一言で述べて下さい。

A. 一般病室はもとより救急用、車載用あるいはホームケア用として使用できる多目的人工呼吸器で、いつでも駆動源を確保できるように設計されている。つまり電源が ① AC 100 V ② 外部バッテリー、③ 充電式内部バッテリーの 3 電源方式になっており、どこでも条件に応じて使い分けることができる。優先順位は①、②、③の順になっており、もし①および②の電源を共に接続しておいても①が優先し、また①、②ともに不良の際には装置自体がそれを察知して自動的に③の電源を選択して 2 時間以上作動させるしくみになっている。さらに便利な PEEP 補償式補助呼吸やプラトー機能を始め、設定条件をガードするためのプロテクトカバー、押し回し式の換気量設定ダイヤルの採用並びに各種警報装置の徹底など、安全確保に細心の配慮を傾注してある。

Q 7. (a) 機器の名称、(b) 標準仕様、(c) 問い合わせ先

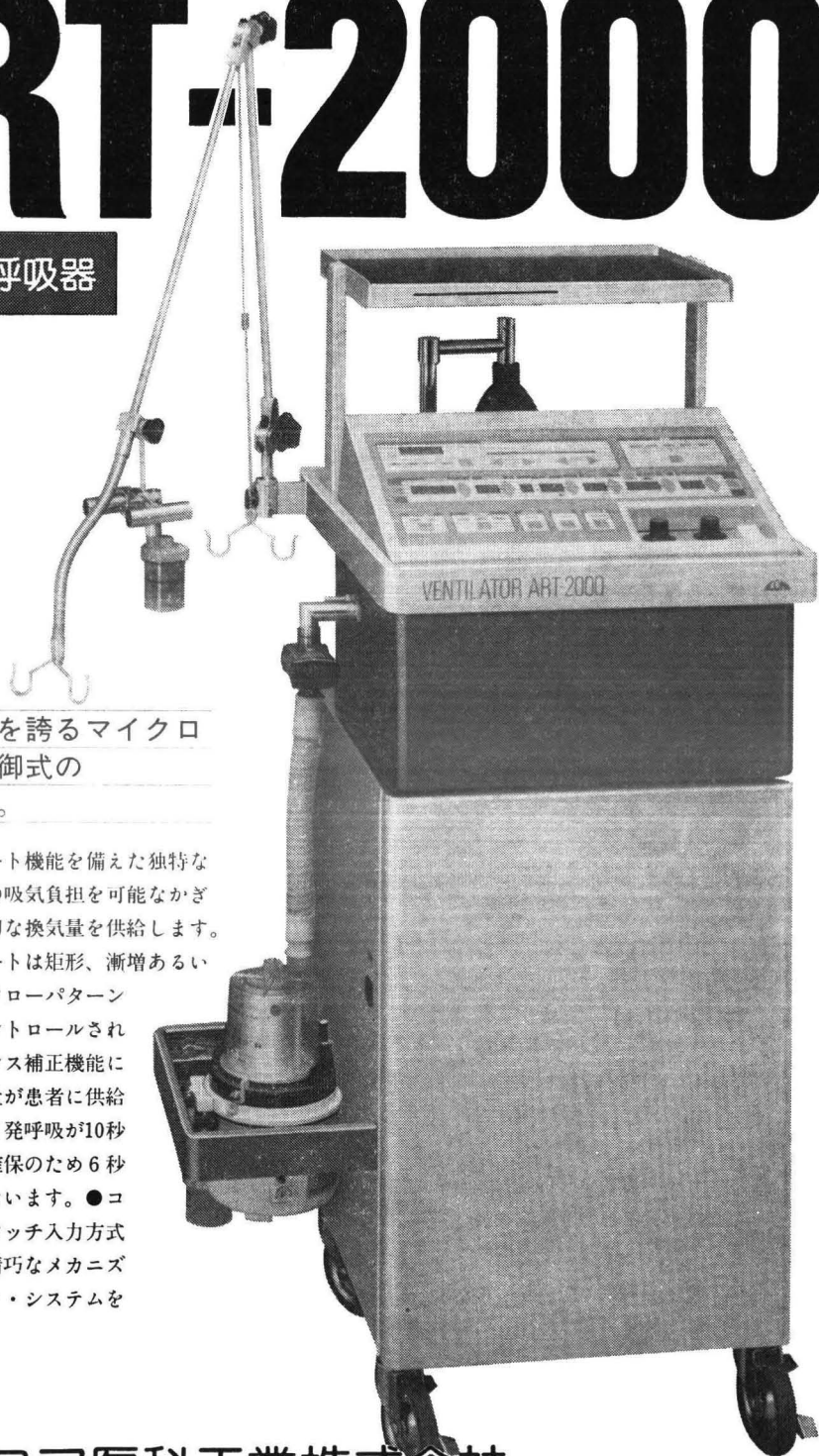
A. (a) アコマ人工呼吸器 ARF-1500E 型

(b) 換気方式：ボリューム・プリセット&タイム・サイクリング方式 / 呼吸モード：調節、補助・調節呼吸 / 1 回換気量：300~1,500 ml / 呼吸回数：4~18 回/分 / 呼吸相比：1:2、吸気時間短縮 可 / トリガー感度：OFF、0~10 cmH₂O / リリーフバルブ：20~60 cmH₂O / 電源：AC 100 V、50/60 Hz、内蔵バッテリー 12 V / 消費電力：150 VA / 外形寸法：320(W)×280(D)×320(H) mm / 重量：約 22 kg

(c) アコマ医科工業株式会社：本社 〒113 東京都文京区本郷 2-14-14 TEL 03-811-4151

ART-2000

アコマ人工呼吸器



多機能・高精度を誇るマイクロ
プロセッサ制御式の
ベンチレーター。

●プレッシャー・サポート機能を備えた独特な
吸気回路により、患者の吸気負担を可能なかぎ
り軽減し、十分かつ適切な換気量を供給します。

(IDV時) ●フローレートは矩形、漸増あるい
は漸減などそれぞれのフローパターン
に応じて正しく自動コントロールされ
ます。●コンプライアンス補正機能に
より、常に正確な換気量が患者に供給
されます。●IDV時に自発呼吸が10秒
以上停止すると、安全確保のため6秒
ごとに強制換気をおこないます。●コ
ントロール部は便利なタッチ入力方式
です。●信頼に応える精巧なメカニズ
ムと、徹底したセフティ・システムを
備えています。

ACOMA

アコマ医科工業株式会社

本社 東京都文京区本郷2-14-14 〒113 TEL03(811)4151 FAX03-811-4158
大阪営業所 大阪市北区東天満2-2-5(第2新興ビル) 〒530 TEL06(351)4530 FAX06-351-4513
福岡営業所 福岡市東区馬出2-1-8 〒812 TEL092(651)3366 FAX092-651-1004
工場 埼玉県大宮市大字大谷字松原1665 〒330 TEL0486(84)3011 FAX0486-84-3014